



チェンマイ大学・香川大学共催

「第5回チェンマイ大学・香川大学合同シンポジウム2014 ～ Healthy Aging and Sustainable Society ～

香川大学は、平成26年9月10日(水)～12日(金)、タイ王国チェンマイ大学において、第5回チェンマイ大学・香川大学合同シンポジウムを開催し、本学からは、長尾学長を始め、39名の教職員、39名の学生が参加しました。

開会の行事では、Niwes Nantachit学長の挨拶、長尾学長の挨拶の後、藤井在チェンマイ総領事館総領事がお祝いの挨拶を行いました。

その後、5会場に分かれて、「Social Science and Humanities」、「Economics and Business」、「Medicine and Nursing」、「Engineering」及び「Agriculture」のセッション、また、ポスター発表が行われ、活発な議論・質疑応答が行われました。

シンポジウム2日目は、「Disaster Management」についてのパネルディスカッション、チェンマイ大学との共同で行う「JICA Project」についてのセッション及び今後の共同事業や次回のシンポジウムのあり方等について、議論が行われました。

午後には、学生セッション等も行われ、「タイと日本経済における観光産業の重要性」について、両大学の学生が活発に議論を行いました。

今回のシンポジウムでは、本学ならびにチェンマイ大学からも多数の学生が参加し国際交流を深めることもでき、教員だけでなく学生にとっても有意義なものとなりました。

次回は、2年後に香川大学において、第6回香川大学・チェンマイ大学合同シンポジウムが開催される予定です。
(国際グループ 上田幸司)



記念撮影



パネルディスカッション



口頭発表



長尾学長の挨拶



学生セッション

<国際交流活性化の推進>

学術交流協定締結調印

2014年 5月27日 本学と第四軍医大学(中国)との学術交流協定締結、本学と第四軍医大学との学生の交流に関する実施細則



第四軍医大学との調印式



長尾学長と趙敏民学長

チェンマイ大学内に香川大学連携オフィスを開設

平成26年3月17日(月)から22日(土)にかけてロンインターナショナル副オフィス長、徳田医学部教授、山本法学部准教授がチェンマイ大学(タイ)を表敬訪問しました。チェンマイ大学は本学の海外教育研究拠点校の一つであり、全学的に活発な交流が行われています。表敬訪問では、今後の学生交流に関するプログラムや共同シンポジウムの開催について議論が行われました。

平成26年3月20日(木)には香川大学連携オフィスの開所式を行い、チェンマイ大学からは Sermkiat Jomjunyong 副学長、Rome Chiranukrom 副学長、Nat Vorayos 工学部長等多数の参加がありました。香川大学連携オフィスはチェンマイ大学工学部棟6階に設置され、香川大学の東南アジア地域の拠点として、活用されることが期待されます。

(国際グループ 福家徹也)



開所式の様子

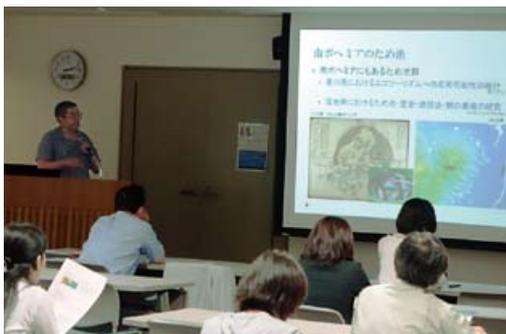


記念写真

国際研究支援センター平成26年度第1回研究会を開催

平成26年6月5日(水)、国際研究支援センター研究会シリーズ平成26年度第1回研究会「讃岐からの発信ー持続的発展に寄与する水文化・環境構築を目指す国際共同研究」を幸町キャンパス研究交流棟5階研究者交流スペースで開催し、本学教職員及び学生等計31名が参加しました。

研究会は、板野インターナショナルオフィス長の司会により行われ、寺尾教育学部教授、石塚工学部准教授、高木地域マネジメント研究科准教授、村山教育学部教授の講演がありました。



寺尾教授(教育学部)の講演

この研究会は、平成25年度に採択された香川大学の国際的な学術・交流の重点分野・テーマに関するもので、「地球ディベロップメントサイエンス国際コンソーシアム」や、新たな水文化・環境構築をめざすジオコミュニケーション学プロジェクトを基礎に展開しています。

今後は、インド工科大学等の国際研究機関との共同研究、エッカード大学との豊島を舞台とした国際環境教育プログラムや、南ボヘミア大学への学生派遣事業など、さらなる展開を目指しています。

(国際グループ 上田幸司)

ブルネイ・ダルサラーム大学との学術交流10周年記念式典を開催

平成26年8月19日(火)、本学幸町キャンパス OLIVE SQUAREにおいて、本学とブルネイ・ダルサラーム大学(ブルネイ・ダルサラーム国)との学術交流10周年記念式典を開催いたしました。本式典は、日本・ブルネイ友好30周年の記念行事のひとつとしても位置づけられています。

当日は、ブルネイ・ダルサラーム大学から、Yang Mulia Dato Paduka Dr. Haji Zulkarnain bin Haji Hanafi 学長、Dr. Joyce Teo Siew Yean 副学長、Dr. Adi Idris プログラム責任者、ならびに本学の長尾学長や学内関係者ほか在日ブルネイ・ダルサラーム大使館、外務省、香川県などからあわせて約70名が出席しました。

本学は、東南アジアとの友好・連携を深めることにより、国際感覚を有する人材育成に貢献し、幅広い分野での共同研究・事業を展開し、国際競争力を高めることを図っております。

こうした理念に基づき、平成17年から本学医学部を中心としてブルネイ・ダルサラーム大学と教職員・学生の学術交流を行い、現在は、本学の海外教育研究交流拠点校のひとつに定め、全学で学術交流を深めています。

(国際グループ 上田幸司)



Zulkarnain学長の挨拶



友好の協力文書に署名



記念撮影



発表を行う医学部学生

学生によるインターナショナルオフィス表敬訪問

平成26年5月26日(月)、コロラド州立大学(アメリカ)の学生3名及び教員1名が本学の板野インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。

本学とコロラド州立大学は国際交流協定を締結しており、本学の教育学部を中心に交流が盛んです。今回、訪問した学生は、平成26年5月26日から6月27日までの5週間、教育学部の「アジア・アメリカ異文化交流短期受入プログラム」に参加し、ホームステイや地域コミュニティとの交流などを通じて、日本の文化への理解を深めました。



コロラド州立大学生がIO長を表敬訪問

平成26年6月16日(月)には、エッカード大学(アメリカ)の学生7名及び教員等2名が、本学の板野インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。



エッカード大学生がIO長を表敬訪問

エッカード大学は、本学の所在する高松市と姉妹都市提携を結んでいるセント・ピーターズバーグ市(アメリカ・フロリダ州)にある大学です。今回訪問した学生は、6月14日から7月12日までの5週間、教育学部の「高松プログラム」に参加し、豊島へのフィールドワーク、書道や合気道など、体験を通じて日本文化への理解を深めました。

平成26年8月19日(火)には、タイ、インドネシア、中国、アメリカ、ブラジル、トルコ、カンボジア、ベトナムの協定校等に在籍する外国人学生24名が、本学のロンインターナショナル副オフィス長を表敬訪問しました。

一行は、浙江工商大学、南京農業大学(中国)、チュラロンコン大学、チェンマイ大学、カセサート大学、アサンブション大学(タイ)、ボゴール農業大学、ガジャマダ大学、ディボネゴロ大学(インドネシア)、カリフォルニア大学デービス校(アメリカ)、州立ロンドリーナ大学(ブラジル)、中東工科大学(トルコ)、バッターバン大学(カンボジア)、ハノイ工科大学(ベトナム)で主に農学分野を専攻している学生です。8月18日から9月20日までの5週間、今回4回目となる本学農学部の「食品の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型プログラム」に参加し、日本語初級授業、食品安全分析の授業や実習参加、食品工場でのインターンシップ、うどん製造の学習の他、茶道、浴衣着付け、ホームステイなど日本や香川の文化体験も学びました。

(国際グループ 上田幸司、浅野文恵)



農学部ショートステイの学生が副IO長を表敬訪問

<学生対象行事>

平成26年度 4 月期新入外国人留学生ガイダンス

平成26年 4 月 5 日(土)、新入留学生38名と、そのサポーター・チューターを務める日本人学生や先輩留学生が参加して、研究交流棟 5 階にて行われました。前半では高松北署の警察官による法令遵守や自転車マナーに関する説明、後半では留学生センター教員による生活面・学業面に関する説明が行われました。終了後は地域の方々も参加しての歓迎パーティーにて交流が図られました。



自転車の乗り方について
指導を受ける留学生



具体例を挙げ、規範意識を
強く持つよう注意喚起

(インターナショナルオフィス
塩井実香)

第20回日本語語学研修プログラム

平成26年 6 月 23 日(月)から 7 月 4 日(金)までの 2 週間、清州大学(韓国)より 3 名、輔仁大学(台湾)より 5 名、計 8 名が参加し、日本語や日本文化を学びました。研修開始前日の初顔合わせ時から研修生も本学の Buddies 学生もすぐに打ち解け、和やかな雰囲気でしたが、その絆は日が経つにつれ深まってきました。



学外実習でのうどん打ち



書道

本プログラムは、学生交流の新たなステップのためこの第20回をもって終了となりますが、これまで20回、計219名を受け入れてきた経験と実績は、今後の留学生受け入れに必ずや活かされるものと思っています。

(インターナショナルオフィス 塩井実香)

留学・研修、JICAの活動に関する説明会

平成26年 4 月 7 日(月)および 8 日(火)、「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～学内説明会」が実施され、留学を計画中の日本人学生に対して、申請が奨励されました。

同 4 月 16 日(水)、「協定大学での留学・研修 JICA 青年海外協力隊&短期ボランティア学内説明会」が実施されました。留学や海外研修に関する説明会は従来から行われていましたが、JICAの活動に関する説明会をインターナショナルオフィスの企画として実施したのは初めての試みです。JICA 青年海外協力隊事務局審議役 三次啓都氏による JICAの活動に関する講演や青年海外協力隊経験者の若宮武氏による活動体験発表が行われました。

同 23 日(水)には、JICA 国際協力人材センター課の田村えり子氏、富松愛加氏による国際協力の仕事に関する講演と、本学卒業生で青年海外協力隊経験者の高橋和寛氏による活動体験発表が行われました。また、国際理解のためのアフリカ映画『恋するケータイ』が上映されました。



トビタテ説明会

留学・研修のみならず、国際協力分野においても、本学学生のさらなる活躍が期待されます。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



水谷JICA四国支部長による挨拶

地域中小企業の海外人材確保・定着支援事業

本事業は、日本国内の外国人留学生を活用し、中小企業の海外展開を支援するために、マッチング、人材育成、定着の促進を行うものです。今年度は、昨年度からの四国生産性本部に加えて、本学も共同申請して採択され、四国地域における実施を担っています。本学は香川県留学生等国際交流連絡協議会の事務局設置機関として、香川県において本事業に取り組んでいます。平成26年7月16日(水)には、「中小企業の魅力研究セミナー&交流会」が実施され、留学生はこの機会を活用して、積極的に様々な質問をしていました。同23日(水)には合同企業説明会が実施され、香川・岡山から20社程度が参加しました。8月1日(金)の「外国人留学生等の入国・在留に関する実務懇談会」においては、在留資格制



合同企業説明会



地域中小企業交流会の様子

度の諸問題や留学生採用時の留意点が扱われ、本事業推進のための環境整備へ向けて、情報提供が行われました。これらに加えて、今年度は全国規模で共通して実施されるイベントも含まれており、充実した就職支援が行われています。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)

平成26年度「海外渡航者・教職員向け危機管理セミナー」

平成26年7月16日(水)、インターナショナルオフィス主催「海外渡航者・教職員向け危機管理セミナー」を開催しました。

日本アイラック株式会社クライシスソリューション事業部・山下寿人部長を講師としてお招きしました。板野インターナショナルオフィス長の挨拶に続いて、山下部長から、渡航先での安全管理(貴重品の取扱い、危険な場所の見分け方等)や健康管理(感染症、衛生管理等)についてご説明いただきました。

(インターナショナルオフィス 正楽 藍)



危機管理セミナーの講演中の山下部長

<各種説明会>

留学生対象進学説明会

今年度も、本学は留学生のリクルーティング活動および広報活動として、各種説明会に参加しています。6月から7月にかけて、岡山で2回、大阪で2回、高松で1回の説明会に参加しています。多くの留学生が本学ブースを訪れ、主に入試制度や奨学金について我々に質問しました。8月や9月にも、いくつかの説明会に参加予定ですし、秋には、ベトナムでの留学フェアも予定されています。



本学ブース

優秀で意欲のある留学生が、進学先として本学を選択してくれることを願っています。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)

| 開催日 | 開催地 |
|----------|-----|
| 6月2日(月) | 岡山 |
| 6月28日(土) | 大阪 |
| 7月13日(日) | 大阪 |
| 7月15日(火) | 岡山 |
| 7月16日(水) | 高松 |

平成26年度香川大学オープンキャンパス

平成26年8月7日(木)、本学幸町キャンパスのオープンキャンパスにおいて、来学者への海外留学相談会を実施しました。オリーブスクエア 2階のイングリッシュカフェでは、インターナショナルオフィス教員が常時待機して相談を受け、また、研究交流棟 4階の研究室を開放して、個別の海外留学相談にも応じました。当日は、高校生をはじめとする計41名の来学者の相談に応じ、学術交流協定校への交換留学や途上国での国際協力活動、異文化についての海外研修等、さまざまな相談が寄せられました。

(インターナショナルオフィス 正楽 藍)



イングリッシュカフェでの相談会



イングリッシュカフェ周辺での声掛け

<地域との交流活動>

第6回花園地区自主防災訓練への参加

平成26年6月21日(土)第6回花園地区自主防災訓練が行われ、花園寮入居者12名、医学部学生4名及び危機管理研究センター岩原廣彦副センター長ほか教職員7名が参加しました。

花園地区防災訓練は2年に一度開催される地域の行事で、地域の住民、花園小学校児童・保護者、近隣保育園児等、約900名が参加し実施されました。

花園寮は平成25年度に本学がNTTから借り上げた単身寮で、13名の留学生と2名の日本人学生が入居しています。この訓練では、花園町の住民として留学生12名が地域住民と花園小学校へ避難しました。その後、ブロックごとに分かれて花園小学校児童、地域住民とともに、バケツリレーや土のう作りなどの防災訓練及び津波訓練に参加しました。有事に備える体験を地域住民と交流しながら行うことができ、留学生にとって貴重な経験となりました。

医学部学生4名は防災訓練の心肺蘇生ブロックで心肺蘇生の方法やAEDの使用方法について、ダミー人形を使って地域住民に指導し実践練習を行いました。また防災訓練終了後は花園小学校教職員を対象に「小児BLSのアルゴリズム」と題して、児童の心肺蘇生について講演を行いました。

また平成26年8月2日(土)には、花園寮において交流会を実施しました。残念ながら天候に恵まれず、寮生と教職員のみでの実施となりましたが、いなり寿司を作ったり、竹を組んでそうめん流しをしたり、日本文化を体験しながら交流を深めました。

(国際グループ 浅野文恵)



地域住民と土のう作りをする留学生

留学生の声



Julia Trautmann

皆さん、こんにちは。私はコリアです。ドイツから来ました。4月から8月まで香川大学の経済学部で勉強しています。授業中はあまりわかりませんでした。でも試験は英語で書きましたから、大丈夫でした。

日本語も勉強しています。日本語はとてもむずかしいです。

日本中をたくさん旅行しました。とても楽しかったです。日本人はとても親切です。どうもありがとうございました。

(経済学部特別聴講学生 コリア トラウトマン)



Nico Dörr

私はニコ・デアです。ドイツから来た留学生です。4月から8月まで香川大学で経済学を勉強しています。日本へ来た時、英語を話す人達があまりいなくて、授業で英語で教える先生もあまりいないので、びっくりしました。ドイツの大学の先生は英語でたくさん教えます。ですから初めは経済学部の授業はとても難しかったです。但し授業の後先生が英語で説明してくれて、英語の資料を出してくれました。事務所の人達もたくさん手伝ってくれました。みんなさんはとても親切だったと思います。ありがとうございました！

(経済学部特別聴講学生 ニコ デア)

インターナショナルオフィスからのお知らせ

- 平成26年12月3日(水)、留学や海外研修に関する説明会が予定されています。興味のある学生の皆さんの参加をお待ちしております。
- 平成26年12月5日(金)、学長主催の留学生交歓会が実施されます。今年も楽しく交流を深めましょう。
- 平成27年1月23日(金)、内閣府のグローバルリーダー育成事業の一環として、本学において海外の若者たちとのディスカッション交流会が行われる予定です。詳細は未定ですが、学生の皆さん、ぜひご参加ください。

香川大学
インターナショナルオフィスニュース
第11号 2014年(平成26年).9.30

香川大学インターナショナルオフィス
〒760-8521 高松市幸町1-1
Tel : 087-832-1194 Fax : 087-832-1192
E-mail : soryugase@jim.ao.kagawa-u.ac.jp
URL : <http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>
留学生センターfacebook
URL : <http://www.facebook.com/KUISC>